

町田市議会議員・良識ある保守主義を目指す

吉田つとむ

納税者主権の政治・リニア新幹線



町田市議会

〒194-8520

東京都町田市

森野 2-2-22

☎042-724-2171

2 期連続トップ当選

子どものネット接続の制限

新聞や書籍だけでは、手元にある情報のみに限定されます。TVでは遠くの世界の情報を同時に知ることが出来ますが、あくまでチャンネル側が提供する範囲に限られます。他方で、インターネットの世界では、スマートフォンやタブレットを通じて、だれでも、どこでも、瞬時に歴史と空間を超えた情報を手にすることができると言えます。

インターネットを通じて、こうして便利に情報入手が出来る反面、暴力や差別等の有害情報、あるいは無差別な課金方式のツールまで無限に拡散していくことが果たして望ましいのかと言う疑問の時代になってきました。特に、成長過程の子どもの世代にとっては、有害情報のもたらす影響が大きな社会問題であり、子どもが持つ通信機器の閲覧を制限する方法が取り入れられています。フィルタリングと言われる方式ですが、実際には親の世代にその取扱いの知識が不足しているのが実情です。有害情報を選別した上で、情報発信のサイトの監視とその主催者への規制も不可避と思われれます。合せて、親と子どもの双方のネット教育が必要だと思えます。



35 期研修生の矢島宏友希さん(新 3 年生)

多摩都市モノレール延伸

多摩都市モノレール町田延伸の促進に關する署名運動が、商工会議所や町内会の回覧を通じて行われています。もちろん、私も署名をしました。この問題では、幾人かの方から問い合わせがありましたので、改めてここで書かせて頂きます。



多摩都市モノレール町田延伸は、以前から私がその必要性を主張していたものです。選挙では、最大のテーマに掲げたこともありました。また、以前に存在した「志政クラブ」と言う市議会会派に居た当時も、会派の大きな政策目標に掲げていました。その理由の一番目は、同じ町田市民でありながら交通至便の人もあれば、過疎の中にある人もあり、できるだけそれを是正して誰でも便利に行き来できる街づくりを行うと言う趣旨に基づくものでした。すでに、2027 年に開通が決定しているリニア中央新幹線の具体的な進展、あるいは関係住民と地元議会が先行して進めてきた、町田市内を経由する小田急多摩線の相模原延伸の運動が一般住民も参加した運動であるのに対し、このモノレール延伸の取組は、行政や団体の上層部で全部を決めて行うと言う運動の観点で大きく違います。

★ 無所属で活動・市議会は保守連合 吉田つとむ発見動画チャンネル

URL <http://j-expert.jp/> ユーチューブ <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

編集 〒194-0011 町田市成瀬が丘 1-14-12 サンホワイト E 103-13 吉田つとむ (市議会議員)

町田市議会議員・良識ある保守主義を目指す

吉田つとむ

セミナー主催・インターンシップ主宰



楽しい社会体験プログラム



携帯QRコード
でブログ閲覧

研修レポート⑦ 浅野 遼

インターンシップの一環で、私は町田市役所企画政策部の部長である市川様と面談をさせていただきました。市川様が薬学部出身という話は伺っていたのですが、驚いたことに面会した際に私と同じ大学を出ている事がわかりました。

そこで、東京薬科大学という政治を専門的に学ばない大学からどのような考えで政治の道に進んだのか、入ってみてどのような人生を歩んできたか等、これから社会に出る私は多くの質問をしました。興味深かったのは、部長として前に立った時に専門的な知識や考えを学んでいたからこそ、知識による裏付けがある話をする事ができたと仰っていました。

また、専門的学問を学んでいると視野が狭くなることもあり、生活の中で地域との関わりを大切にしたいとの事です。日々の生活の中での経験が仕事にも生きるということ知り、私も視野を広げるべく自分の専門的分野を学ぶだけでなく、様々な人との関わりを大切にしたい意識を持つようにしようと思います。部長の市川様には、面談の機会をいただきありがとうございました。



東京薬科大学 4 年 浅野 遼 (第 33 期研修生)

研修レポート① 矢島宏友希

初のインターン活動として、町田市民文学館を訪問し、館長の河井様と担当係長の中嶋様と面談させていただきました。



主にこの施設がどのような役割を果たし地域と結びついているのか、またいかなる人材によって運営がなされているのか、といったお話を聞くことが出来ました。文学館の機能、図書館の機能、施設貸し出しの機能の 3 つを有する場として町田市の文学史を残し、保管するだけでなく定期的に展示会を開催して市民にも情報を発信していくことが大きな使命だということが強く伝わってきました。この日は直木賞作家である常盤新平先生の企画展が開催されていて、貴重な原稿等を目にすることができ、正に、その使命を体感することができました。

私は現在司書課程を履修しており、あらゆる形態の図書館の姿を追ってその在り方を考えていきたいと思っているので、単なる図書館とは異なった、文学館という現場の方に接する今回の体験は非常に勉強になりました。河井様と中嶋様、お時間をいただき本当にありがとうございました。

明治大学新 3 年 矢島 宏友希(第 35 期研修生)

★吉田つとむの連絡先 TEL 042-795-7361 FAX 042-795-2726

◇ どうぞ、町田市政や議会に関するご要望や、ご意見をお気軽にお寄せ下さい。

Mail : yoshidaben@gmail.com

mobile: yoshidaben@docomo.ne.jp